



深刻な教員未配置の対策は急務

小中学校の教員未配置が依然として深刻です。出産・育児休暇や長期療養などで担任が不在となっている学校にたいして、千葉県教育委員会が代替教員を配置できず、学年主任や専科教員など担任を持っていない教員が穴を埋めています。

未配置は県全体で小学校170人、中学校60人に上っています(今年7月1日)。

〔船橋市内の教員未配置校〕

小学校9校9人

小栗原、行田西、行田東、南本町、二宮、三山、習志野台第2
高根東、坪井

中学校7校8人

葛飾(2人)、二宮、三田、
習志野台、坪井、大穴、八木が谷

(2022年7月1日現在)

〔船橋市の学校給食費〕

		年間合計額
小学校	低学年	4万6065円～4万8697円
	高学年	5万3065円～5万6097円
中学校		6万3177円～6万7030円

(2022年度・端数切り捨て)

船橋市の学校給食は年間7万円近くもかかり、子育ての重い負担となっています(上の表参照)。これを解決するため、給食料が当然のあり方

一方、市川市では全員を補助をおこなっています。

食代の無料化を求める声が続いて、署名や市への要請が行われ、日本共産党などが議会でも無料化を求めてきました。昨年3月の県知事選挙でも6月の船橋市長選挙でも大きな争点となり、ついに実現することになりました。千葉県も、実施市町村に費用の半額補助をおこなっています。

子育ての切実な願いついに実現

3人目以降の学校給食費が無料に

船橋市が、小中学校に通っている子どものうち、3人目以降の給食代を無料にすることを表明しました。千葉県も実施市町村への補助制度を開始します。長年の市民の声と運動が政治を動かした結果です。

象に無料とすることを決めました。「義務教育は無償とする」との憲法26条にもとづいて、教育の一部である給食は全員無料にすべきです。

また今回、船橋市は給食費未納者は対象にしないとしています。給食代が払えない世帯こそ無料にすべきです。

米空軍のオスプレイが飛行停止措置 日本共産党が「欠陥機」の全面運用停止を要請

米空軍が、オスプレイを飛行させない措置をとり、自衛隊も一時的に飛行停止にしたことを受けて、日本共産党は9月1日、防衛省に全面的な飛行停止と木更津駐屯地配備

撤回を要請しました。

米空軍がオスプレイの地上待機を公表したのは8月17日。理由は、エンジンとプロペラをつなぐクラッチが、何らかの原因でかみ合わなくなる不具合が繰り返し起きています。

要請のなかで、自衛隊が飛行を再開しようとしていることについて担当者は「クラッチの構造は同じだが、運用のしかたが違う。空軍は特殊部隊の運用に使うので慎重に対応して飛行停止にした。自衛隊は、不具合を克服する操縦手順を確立しており、安全運行は可能」と強弁しました。

しかし運用方法が違っても、再開を決定しました。

最低賃金が時給984円に それでもまだまだ低すぎる

千葉県の最低賃金が10月から、時給984円に引き上げられます。現在の953円から31円増額で、引き上げ率は3.3%。これでは食料品や生活必需品の値上げに追いつきません。しかも時給984円では手取りで月に13万円程度にしかならず、生活していくことさえままなりません。中小企業への十分な支援と一体に、一刻も早く時給1500円への引き上げが求められています。

〔千葉県の最低賃金額推移〕

年	時給	前年比
2017	868	+26
18	895	+27
19	923	+28
20	925	+2
21	953	+28
22	984	+31

(単位: 円)